

板書例

ずうつと、ずつと、大すきだよ

ハンス＝ウイヘルム さく・え
ひさやま たいち やく

すすめかた

おんどく↓ めあて↓ かく↓ はなしあい

めあて

「ぼく」は、どんなようすだったかな。

目をさますと、エルフが、しんでいた。
よるのあいだにしんだんだ。

かなしい

たのしかったおもいで
いっしょうけんめいおせわをした。

ぼくたちは、エルフをにわにうめた。

みんななくて、かたをだきあった。

パパ

ママ

にいさん

いもうと

エルフがすきだった。

でも、すきっていつてやらなかった。

ぼくだって、かなしくてたまらなかったけど、
いくらかきもちがらくだった。

まいばん

「ずうつと、大すきだよ。」

エルフのきもちがわかった。

エルフのおせわがいつぱいできた。

叙述や挿絵をもとに読み取ったことを、友だちによく分かるように話す。そのため、「○○さん」と似ていて、「○○○」に付け足して「○○○○」などの簡単な表現を指導する。

板書が本時の振り返りに生かせるようにする。

HOME

本時の流れへ

単元の流れへ